

※このメールは東京都が開催いたしましたイベント等にご参加いただいた方、お名刺を交換して下さった方及びメールマガジンの配信を希望された方に BCC でご案内させていただいております。
※今後、メールマガジンの配信を希望されない場合には、お手数をおかけいたしますが、配信不要の旨、本メールへ返信する形でご連絡をお願いします。

東京都港湾局 物流通信 2025. 10. 31号(第62号)

～東京港からはじまる物流改革～

東京港のオフピークの利用促進に向けた取組を実施します

東京都は、午後や夕方に集中する傾向にある東京港へのトラックの来場時間を分散化させ、コンテナターミナルにおけるゲート前混雑の解消を促進するため、東京港と荷主・物流事業者の双方の課題解決に資する取組として、午前中などコンテナターミナルが比較的空いている時間帯に搬出入を行う「オフピーク搬出入」を推進しています。

令和6年度は、荷主企業と物流事業者で構成するグループが、トラックの中継輸送拠点となる「デポ」を活用した「東京港オフピーク搬出入モデル事業」を実施し、ゲート前の待ち時間の短縮や輸送効率の向上などの効果を確認しました。

今年度は、東京港のオフピーク搬出入を一層推進していくため、モデル事業に参画する企業を募集し、下記のとおり事業を実施することとしましたので、お知らせします。

- 1 実施事業者（15社1グループ）
荷主企業10社・物流事業者5社
- 2 輸送期間（予定）
令和7年11月4日（火曜日）から12月中旬頃まで
- 3 輸送本数（予定）
400本程度
- 4 輸送の概要
東京港や道路が比較的空いているオフピークの時間帯を活用し、複数の荷主と物流事業者が連携して、トラックの待ち時間の短縮や輸送効率の向上に取り組みます。
 - ・コンテナ搬出入の時間帯を、混雑する午後や夕方から比較的ターミナルが空いている
午前にシフトし、搬出したコンテナは東京港デポに仮置き
 - ・道路混雑の少ない夜間に、東京港デポと荷主デポとの間で、仮置きしたコンテナを輸送

- ・事業者間で連携し、行き帰りとも実入コンテナで輸送するなど、効率的な輸送を実施

※ 詳細は、次のURLからご覧ください。

(事業プロモーター：株式会社野村総合研究所HP)

https://www.nri.com/jp/news/public_offer/offpeak_ext_2025.html

(東京都報道発表)

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/10/2025103009>

東京都港湾局 HP (東京港の物流効率化に向けた取組み)

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/logistics/>

メールマガジン「物流通信」のバックナンバーはこちら↓

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_8.html

問合せ先 東京都港湾局港湾経営部振興課 S0000517@section.metro.tokyo.jp